



2025年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年7月9日

上場会社名 株式会社プログリット 上場取引所 東
コード番号 9560 URL <http://www.progrit.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 岡田 祥吾
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO (氏名) 谷内 亮太 E-mail ir@progrit.co.jp
配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・個人投資家向けライブ配信及び当社サイト動画掲載)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年8月期第3四半期の業績 (2024年9月1日～2025年5月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期第3四半期	4,228	33.0	1,045	40.4	1,048	42.5	766	42.6
2024年8月期第3四半期	3,179	49.2	744	69.8	735	69.6	537	81.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年8月期第3四半期	61.22	59.97
2024年8月期第3四半期	44.25	42.20

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年8月期第3四半期	4,041	2,193	53.9
2024年8月期	3,886	1,796	46.0

(参考) 自己資本 2025年8月期第3四半期 2,176百万円 2024年8月期 1,787百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年8月期	-	0.00	-	13.00	13.00
2025年8月期	-	0.00	-	-	-
2025年8月期 (予想)	-	-	-	19.00	19.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日 (2025年7月9日) 公表いたしました「配当予想の修正 (増配) に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2025年8月期の業績予想 (2024年9月1日～2025年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,700	28.0	1,070	29.8	1,072	31.2	784	28.5	62.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料 7 ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年8月期3Q	12,657,211株	2024年8月期	12,480,480株
② 期末自己株式数	2025年8月期3Q	238,468株	2024年8月期	368株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年8月期3Q	12,526,034株	2024年8月期3Q	12,150,579株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載の業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手し得る情報と合理的であると判断する一定の条件によって作成しているため、数値記述内容の達成を確約するものではありません。また、実績は種々の要因にて変動することがあります。業績等の予想に関する注意事項等については添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明会内容の入手について)

当社は、2025年7月9日(水)に第3四半期オンライン決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料は、速やかにウェブサイトに掲載する予定です。

上記説明会のほかにも、当社では個人投資家のみなさま向けに、定期的に事業・業績に関する説明会を開催していきます。この説明会で配付する資料および主な質疑応答は、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。今後の開催の予定等については、当社ウェブサイトをご確認ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文章中の将来に関する事項は、当第3四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における当社を取り巻く経営環境につきましては、雇用情勢及び所得水準の改善やインバウンド需要復調等が景気の追い風となる一方で、円安影響による原材料価格や光熱費の上昇、人件費の増加等による物価高継続や、不安定な世界情勢や為替変動等の影響により、不透明な状態が続いております。

しかしながら、当社が事業展開している英語学習市場につきましては、少子高齢化による国内市場の先行きへの懸念を持つ企業の海外進出意欲が衰えておらず、グローバル人材の育成・確保に必要な英語学習への関心が依然として高いことに加え、福利厚生の一環として英語学習を取り入れる企業も出てきております。個人の英語学習に関しても、グローバル化が進む状況の中で英語学習意欲は高い水準を維持しており、今後も引き続き市場全体が堅調に推移していくものと考えております。

また、生成AIの発展に伴い、英語学習業界も大きく変わることが予想されますが、当社としては英会話市場が縮小することはないと考えております。特にビジネスシーンにおいては人同士のコミュニケーションが極めて重要であり、今後もビジネスパーソンの英語学習需要は衰えることはないと考えております。そこで、生成AIを如何にうまく活用し、英語学習の効率アップや体験向上を実現できるかが、今後の鍵になってくるものと考えております。

また、当社が参入をいたしましたAI英会話サービス領域においては、AIの精度による差別化は難しいと考えており、UI/UXの磨き込みが競争のポイントになってくると想定しております。その一方で、テクノロジーの変化に関わらず英語学習で成果を出すためには、学習時間の最大化が欠かせない要素であるため、コンサルタントが行う伴走型のサポートの重要性は引き続き高いと考えております。

このような環境の中、当社におきましては、英語コーチングサービス「プログリット」において、集中学習によって飛躍的に英語力を向上させるために、①英語学習を継続させる習慣を身につけるためのコンサルタントによるサポート、②顧客ごとにカスタマイズしたカリキュラムの設計、③利便性の高い学習アプリによる学習環境、という主に3つの特徴において、継続的な品質向上と改善に取り組んでおります。

また、リスニング力向上に有効なシャドーイングに特化したサブスクリプション型の英語学習サービスである「シャドテン」は引き続き学習コンテンツの拡充やアプリの顧客体験改善等による平均継続期間の増加等により、有料課金ユーザー数は堅調に推移しており当社の収益基盤として順調に成長しております。

前事業年度において、2023年12月19日にスピーキングに特化したサービスである「スピフル」、2024年7月1日にAI英会話サービスである「ディアトーク」をローンチいたしました。スピフルは、スピーキング力向上のために必要なトレーニングの口頭英作文（注1）と実践の独り言英会話（注2）の双方を実践することに加え、AI添削による「振り返り」を行うサブスクサービスです。ディアトークは、AI講師が学習者の興味関心や近況を分析し記憶して、英会話の最適な実践の場をオンラインで提供するサブスクサービスです。スピフル、ディアトークはプロダクト強化に注力し、マーケティングは徐々に加速してまいります。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は4,228,446千円（前年同四半期比33.0%増）、営業利益は1,045,121千円（前年同四半期比40.4%増）、経常利益は1,048,415千円（前年同四半期比42.5%増）、四半期純利益は766,892千円（前年同四半期比42.6%増）となりました。

なお、当社は英語コーチング事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載をしておりません。

(注) 1. 口頭英作文：日本語の文章を瞬時に英語に変換し、発話するトレーニングです。

2. 独り言英会話：自身で選んだお題について1分間英語でスピーチを行うトレーニングです。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は4,041,520千円となり、前事業年度末に比べ155,102千円増加しました。これは主に、敷金が108,656千円、前払費用が33,696千円、投資有価証券が23,723千円、建物が14,838千円増加し、現金及び預金が16,119千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は1,848,410千円となり、前事業年度末に比べ241,525千円減少しました。これは主に、賞与引当金が137,590千円、未払金が133,890千円、契約負債が60,937千円減少し、長期借入金が38,616千円、未払費用が32,385千円、預り金が27,683千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は2,193,110千円となり、前事業年度末に比べ396,627千円増加しました。これは主に資本剰余金が25,923千円、四半期純利益により利益剰余金が766,892千円増加し、配当金の支払いにより利益剰余金が162,241千円減少し、自己株式の市場買い付けにより自己株式が253,188千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年10月9日に発表しました通期の業績予想につきましては、現時点にて変更ございません。

なお、2025年8月期の配当につきましては、2025年7月9日に公表いたしました「配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年8月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,041,922	3,025,803
売掛金	99,239	102,329
商品	18,127	14,254
貯蔵品	2,597	5,472
前払費用	66,765	100,462
その他	64,724	46,818
流動資産合計	3,293,377	3,295,142
固定資産		
有形固定資産		
建物	213,956	253,687
減価償却累計額	△64,724	△89,616
建物（純額）	149,231	164,070
工具、器具及び備品	22,333	32,509
減価償却累計額	△13,011	△17,809
工具、器具及び備品（純額）	9,321	14,699
有形固定資産合計	158,553	178,770
投資その他の資産		
投資有価証券	11,267	34,990
出資金	20	20
長期前払費用	354	1,095
繰延税金資産	175,453	175,453
敷金	246,592	355,249
その他	800	800
投資その他の資産合計	434,487	567,608
固定資産合計	593,040	746,378
資産合計	3,886,418	4,041,520

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年8月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	27,517	33,266
1年内返済予定の長期借入金	58,665	65,188
未払金	320,988	187,098
未払費用	148,424	180,809
未払法人税等	182,237	168,000
契約負債	938,034	877,096
預り金	24,195	51,879
賞与引当金	182,911	45,320
役員賞与引当金	14,600	-
その他	92,576	101,349
流動負債合計	1,990,151	1,710,010
固定負債		
長期借入金	93,380	131,996
資産除去債務	6,404	6,404
固定負債合計	99,784	138,400
負債合計	2,089,935	1,848,410
純資産の部		
株主資本		
資本金	322,997	334,149
資本剰余金		
資本準備金	319,997	331,149
その他資本剰余金	-	14,771
資本剰余金合計	319,997	345,920
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,145,240	1,749,891
利益剰余金合計	1,145,240	1,749,891
自己株式	△401	△253,590
株主資本合計	1,787,833	2,176,371
新株予約権	8,649	16,739
純資産合計	1,796,483	2,193,110
負債純資産合計	3,886,418	4,041,520

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)
売上高	3,179,313	4,228,446
売上原価	867,992	1,096,000
売上総利益	2,311,320	3,132,445
販売費及び一般管理費	1,566,683	2,087,323
営業利益	744,636	1,045,121
営業外収益		
ポイント還元収入	917	2,279
受取利息	8	1,178
その他	1,382	1,471
営業外収益合計	2,309	4,929
営業外費用		
寄付金	10,000	-
支払利息	1,123	1,236
投資事業組合運用損	293	273
その他	-	126
営業外費用合計	11,416	1,635
経常利益	735,529	1,048,415
特別利益		
新株予約権戻入益	141	-
特別利益合計	141	-
税引前四半期純利益	735,671	1,048,415
法人税、住民税及び事業税	198,040	281,523
法人税等合計	198,040	281,523
四半期純利益	537,630	766,892

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期会計期間(自2023年9月1日至2024年5月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が第3四半期会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が第3四半期会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

当第3四半期会計期間(自2024年9月1日至2025年5月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の 総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2024年11月27日 定時株主総会	普通株式	162,241	13	2024年8月31日	2024年11月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期会計期間に属する配当の内、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、2024年11月5日開催の取締役会において、譲渡制限付株式報酬制度の導入を決議し、2024年11月27日開催の第8回定時株主総会において承認可決されました。2024年12月27日付で譲渡制限付株式の発行により、発行済株式数が28,456株、資本剰余金が14,771千円増加しております。

また、2025年4月16日開催の取締役会決議に基づき、自己株式238,100株の取得を行いました。この結果、当第3四半期会計期間末において、自己株式が253,188千円増加しております。

さらに、新株予約権の権利行使に伴い、当第3四半期会計期間末において資本金が11,152千円、資本準備金が11,152千円増加しております。

これらの結果、当第3四半期会計期間末において、資本剰余金が345,920千円、資本金が334,149千円、資本準備金が331,149千円、自己株式は△253,590千円となっております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(表示方法の変更)

(損益計算書)

前第3四半期会計期間において、独立掲記しておりました「営業外収益」の「利子補給金」と「印税収入」と「助成金収入」は金額的重要性が乏しくなったため、当第3四半期会計期間においては「その他」に含めて表示しております。また、「営業外収益」の「その他」に含めていた「受取利息」は、金額的重要性が増したため、当第3四半期会計期間より独立掲記することとしました。これらの表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期会計期間の財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第3四半期会計期間の損益計算書において、「営業外収益」に表示していた「利子補給金」524千円、「印税収入」311千円、「助成金収入」330千円および「その他」225千円は、「受取利息」8千円および「その他」1,382千円として組み替えております。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費及びその他の償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自2023年9月1日 至2024年5月31日)	当第3四半期累計期間 (自2024年9月1日 至2025年5月31日)
減価償却費及びその他の償却費	15,771千円	38,459千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は、英語コーチング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。